

気になる！

新型コロナウイルスワクチンの副反応と対処方法



庄原市新型コロナウイルス感染症対策本部 ☎0824-73-1137

接種後に起こる症状

新型コロナウイルスワクチンは、発症予防や重症化防止に非常に高い効果があり、ファイザー社製ワクチンは95%、モデルナ社製ワクチンは94%の発症予防効果が確認されています（薬事承認前の臨床試験）。

一方で、接種後に体内で免疫ができる過程で、**接種部位の痛み、発熱、倦怠感、頭痛、筋肉や関節の痛み、寒気、下痢**などの症状が現れることがあります。いずれの症状も、ほとんどが接種の翌日をピークに発現し、数日以内に回復しています。最も多く見られた症状は、接種部位の痛みで、1回目、2回目接種後いずれの場合も、80%以上の人に症状が現れました。症状が続く場合は、かかりつけ医に相談しましょう。

症状が出たときの対応

●発熱・痛みがある

市販の解熱鎮痛薬（アセトアミノフェンや非ステロイド性抗炎症薬 [イブプロフェンやロキソプロフェンなど]）を服用しても問題ありません。症状を和らげる効果があります。また、発熱時には、水分を十分に取らしましょう。妊娠・授乳中の人や、胃潰瘍・腎機能障害・ぜんそくなどの持病がある人は、医師や薬剤師にご相談ください。



●かゆみを感じる・皮膚などが赤くなった

患部を冷やし、抗ヒスタミン剤やステロイドの外用薬（軟こうなど）を塗ると、症状が軽減されます。こうした成分は、市販の虫刺され薬などにも含まれています。

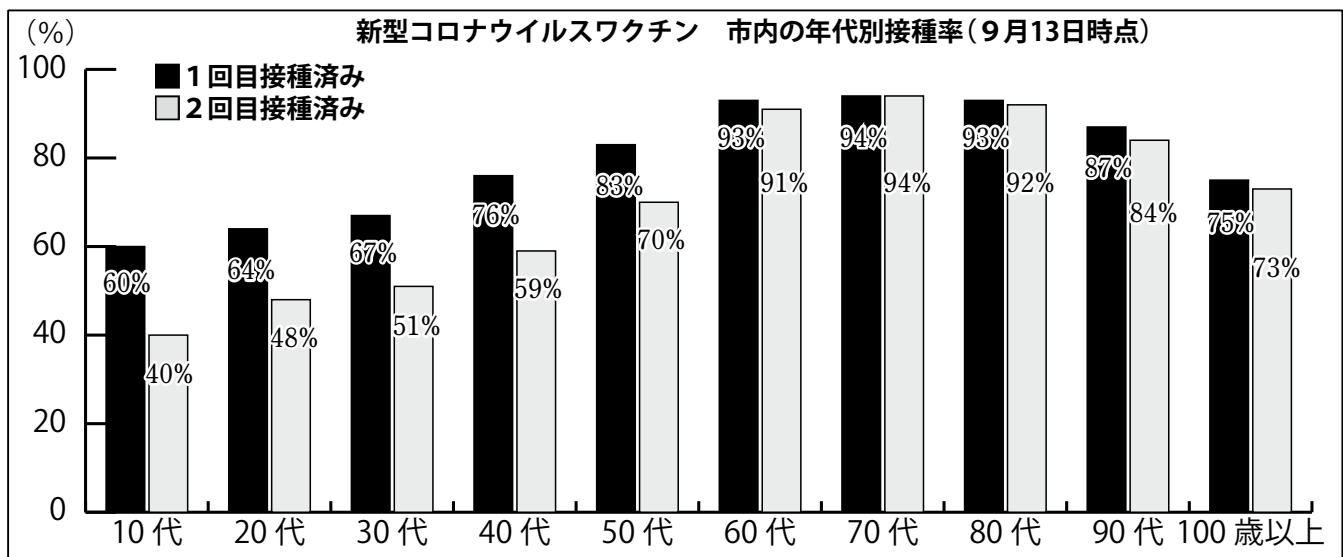
接種後の感染予防

ワクチンの効果は高いものの、100%発症や重症化を防ぐものではありません。今後、ウイルスが変異することで、効果に影響が出る場合もあります。接種後も、**マスクの着用やうがい、手洗いなど、基本的な感染予防対策の継続**をお願いします。



市内の接種状況

市内での接種は順調に進んでおり、9月13日時点で26,055人に1回目の接種、23,518人に2回目の接種を実施し、市内の接種対象者に対する接種率は1回目接種済みの人が83%、2回目接種済みの人が75%です。今後もワクチンの供給状況に合わせて、接種の予約を受け付けます。予約状況は住民告知放送や市ホームページでお知らせします。詳しくは庄原市新型コロナウイルス感染症対策本部にお問い合わせください。



接種は強制ではありません。ワクチンの効果とリスクを確認した上で、本人の意思に基づき、接種を受けていただきます。本人の同意なく、接種が行われることはありません。

また、さまざまな事情で接種を受けることができない人もいます。職場や周りの人に強制したり、接種を受けていない人に対し差別的な扱いをしたりしないようにしてください。

※参考：厚生労働省作成資料